お知らせ

社会医療法人 三車会 主催

みくるま祭り 予告

開催します！

入場無料

2025.3.23（日）

10:00-15:00

内容は決まり次第、HPで発表します！

開催場所 介護老人保健施設 みくるま 敷地内

社会医療法人 三車会
貴志川リハビリテーション病院
KISHIGAWA REHABILITATION HOSPITAL

〒640-0401
和歌山県紀の川市貴志川町丸栖 1423-3
TEL:0736-64-0061

●診療受付時間
【午前】8：30 ～ 11：30
【午後】15：00 ～ 17：00（火・木・土曜除く）
【休診日】日曜日・祝祭日

●病院長
西村　和彦

●診療科目
整形外科・脳神経外科・リハビリテーション科・外科
内科・総合診療科・麻酔科・放射線科・救急科・循環器内科

●病床数　　計 168床
・一般病棟（60床　内、地域包括ケア病床 34 床）
・回復期リハビリテーション病棟（108床）

Homepage　Instagram

https://www.mikurumakai.or.jp/

関連施設

・在宅総合ケアセンター 赤ひげクリニック
〒649-6123 紀の川市桃山町神田 378
TEL：0736-66-9003

・たま整形外科
〒640-0424 紀の川市貴志川町井ノ口 974-4
TEL：0736-65-2700

・こかわリハビリクリニック
〒649-6531 紀の川市粉河 451-9
TEL：0736-67-7818

・介護老人保健施設 みくるま
〒640-0401 紀の川市貴志川町丸栖 936-3
TEL：0736-64-2800

・Acti-va
〒649-6202 岩出市根来 823-1
TEL：0736-69-0051

・健幸倶楽部 ながやま
〒640-0416 紀の川市貴志川町長山 583-1
TEL：0736-86-0000



社会医療法人 三車会 広報誌

みくるま通信

Social medical corporation mikurumakai

2025 winter
38
TAKE FREE

CONTENTS

・新年の挨拶
・三車会の 2024年 Pickup！
・老健みくるまで音楽サロン
・自動車運転支援と
　就労支援の研修会
・RPA 導入
・関連施設からのお知らせ

Shooting location：伊都郡高野町高野山
Photo title: 壇上伽藍の雪



2025

新年のご挨拶

謹んで新年のお慶びを
申し上げます



Mikurumakai
Social medical corporation

TONOO
MORIHIRO

あけましておめでとうございます。今年も国内では**竜頭蛇尾**に終わらせてはならない政治資金改革、**画蛇添足**に陥りやすい税制改革とりわけ課税水準の見直し、年金制度改革、特に基礎年金の給付水準の底上げ、生産人口の減少するなか働く意欲のある高齢者の就業促進を目指す在職老齢年金の改善そして所得アップの問題、その中でもわれわれが注視する医療・介護職の給料改善の施策を厚生労働省が現在おこなっていただいているものの他の職種の給料アップには程遠く、実際のところ定められた給付金を原資としているため満足する還付ができていない現状です。一方、国外では**杯中の蛇影**を生じかねないアメリカの国策そして戦々恐々する防衛問題、その中でも**蛇心仏口**で近づく隣国との安全保障に**打草驚蛇**を生じさせない外交折衝など内憂外患が山積されています。

さて、この地域を見渡しますといわゆる医療過疎地と言われる山間部では住民人口の減少とともに廃屋も増え、通院手段にもこまり十分な医療介護サービスを受けられない高齢者が現実おられます。ご安心ください。わたくしどもの社会医療法人グループは精一杯あなた方をサポート致します。

昨年、皆様方のおかげさまで医療法人設立から26年を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援あってのことと誠にありがたく思っております。**蛇は寸にして人を呑む**といいますが、わたくしもその気概をもって法人運営にあたり職員ともども今年も汗を流す覚悟です。

最後に皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

社会医療法人 三車会（みくるまかい）
理事長 殿尾（とのお） 守弘（もりひろ）

みくるまかいの 2024年 Pickup!

1月 オフィスでやさいを導入



福利厚生の一貫で、健康社食を設置。

2月 JRAT 能登半島地震へ派遣



能登半島地震へ派遣要請があり、
当院の和歌山 JRAT メンバー１名派遣。

みくるま通信
前号を
チェック！

5月 晴れて 機能評価認定病院に！



Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第 JC2529 号

7月 第１回 貴志リハ健康講座スタート!



脳神経科部長の大岩医師による
市民公開講座が開始！

過去の講座は
コチラから！

11月 RPA（ソフトウェアロボット）導入！



ロボット導入により業務効率化、
人為的ミス削減を目指す。

特集ページ
P5 へGO!



12月 毎年恒例の忘年会！



スタッフの表彰や豪華賞品の
抽選会など、一年を楽しく
締めくくることが出来ました。



看護部
Nurse

歌って、奏でて、笑顔を届ける音楽療法



介護老人保健施設みくるまで、定期的に「音楽サロン」を開催しています。
担当してくれている看護師、宮村茉美亜さんに音楽療法の効果や取り組みについてお話を伺いました。

音楽の力で利用者様の心のケアと健康をサポート

音楽療法とは、音楽の持つ力を、心と体の機能の維持・向上や、心のケアなどに役立てていくものです。具体的には、子どもの発達支援や介護予防、認知症症状の緩和、病気や事故の後のリハビリテーションなど、小さな子どもから高齢の方まで、幅広いニーズに合わせて音楽療法を行います。



みやむら　まみあ
看護師　宮村 茉美亜さん

私は幼少期よりピアノなどの音楽に親しんできました。そんな音楽を活かすことができないかと考えた時に出会ったのが音楽療法士という職業でした。音楽療法士を目指すにあたり、対象となる方への理解を深めるため看護師の資格を取得し、昨年度より音楽療法を学べる通信制の学校に籍を置いています。

昨年の７月より月２回、老健みくるまで「音楽サロン」として集団音楽療法をさせていただき、利用者様が楽しみながら、歌ったり、楽器を鳴らしたり、体を動かしたり、時には頭の体操もできるようなプログラムで音楽療法をしています。参加者の方からは「今日も楽しかった」「また音楽しに来てね」など、ありがたいお言葉をいただき、非常にうれしく思っています。

まずは来年度の音楽療法士の資格取得を目指し、今後も音楽で楽しく皆さまの心と体の健康をサポートできるよう精進して参ります。







リハ部
Rehabilitation

《脳卒中に悩む方に向けた》

自動車運転支援と就労支援の研修会を行いました



※左から、理学療法士、当事者（元患者様）３名、作業療法士

脳卒中当事者が語る就労支援と社会復帰までの道のり

打田生涯学習センターで「脳卒中患者の自動車運転支援と就労支援」についての研修会を開催しました。当院では、脳卒中患者様に対し自動車運転と就労の両面から社会復帰をサポートしています。研修会では、当院のリハビリスタッフが取り組み内容を紹介し、実際に当院で支援を受けた３名の当事者が自身の経験を踏まえて運転や仕事の中で抱く苦労や希望・夢など具体的なエピソードを交えて話してくださいました。



リハビリスタッフと当時を振り返る様子

会場には脳卒中当事者やその家族、医療・介護専門職、行政職員など約50名の方が参加され、講演後には「3人の表情がとても良く、セラピストとの関係性の良さが伝わった」「障害があっても人の役に立ちたいという想いに感動した」「またこんな交流ができる機会が欲しい」などの嬉しい感想もいただけました！

地域のリハビリテーション強化の拠点として

当院は地域リハビリテーション広域支援センターの認可を和歌山県から受けております。その役割としては地域のリハビリテーション支援を強化するための拠点で、医療・保健・福祉の専門職が連携し、地域住民の健康と生活の質を向上させることにあります。今回の研修はその一環として開催させて頂きました。今後も地域住民に貢献できるような発信を行っていきます！



たくさんの方にご参加いただきました

お知らせ
Information

BizRobo!
導入しました！



昨今、医療現場でRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の必要性が高まっています。当院でも必要な書類の出力や予定の管理、漏れの確認など、繰り返し行われる定型的な事務作業に時間を取られていました。1件1件はそこまで時間がかからなくとも積もり積もって数が膨大になると必要な時間は比例して大きくなります。RPAを導入するとこうした業務を自動化し、スタッフが患者様に向き合い、治療に専念することができると感じています。

当法人では、今後の医療従事者不足への対応策、作業効率化を図るため、2024年6月より、オープン株式会社のRPAツール「BizRobo！」を使用したトライアルを実施しました。11月からは本格的に導入し、現在、事務部門とリハビリテーション部門において、月間約100時間の業務をRPAに移行することに成功しています。今後はRPAをさらに活用し、作業効率化と医療ケアの質の向上を目指していきます。

RPA導入で、以下の３つの効果を想定しています。



① 業務効率化　《月100時間以上の業務削減が可能》
② 医療の質向上　《医療における人為的なミスをロボットが事前にチェック》
③ 収益向上　《オーダリング漏れや請求漏れ防止を促進する》

導入後のRPA担当者の声



リハビリテーション部　科長
谷口 裕亮

リハスタッフは患者様へのリハビリ以外に、カルテ記載などの書類業務があります。多忙な業務の合間なので、漏れやミスも発生してしまいます。RPAを導入したことにより、記載漏れのチェックと担当者へのお知らせメールが送信でき、カルテ確認業務の時間軽減に繋がっております。さらにRPAを作り、スタッフが患者様へ関わる時間や話し合える時間を増やせればと考えております。



診療支援課　主任代理
茶原 啓文

事務においては、出勤後に入退院や受診の患者様の一覧表などを作成、印刷し業務を行っていました。RPAを導入し、指定の時間にプログラムを作動させることで、業務開始時に必要な書類が出力されている状態になりました。

導入前に比べて、準備の時間が減り、迅速に患者様への対応、アナウンスができるようになりました。今後もルーチン化されている業務をRPA化することでスタッフが業務に集中できるような体制を整えていきたいと考えています。

三車会の関連施設のお知らせ

みくるまかいの色々あつめました！

赤ひげクリニック
恒例の 日帰りバス旅行 in 神戸



今回は37名の利用者様にご参加頂ました。身体に不安があってもスタッフ同行なので安心して参加できると大好評！白鶴酒造資料館を見学した後、豪華な中華料理をいただき、ポートタワーから神戸の街を一望してきました。

介護老人保健施設 みくるま
デイケア秋の大運動会！！



10月に曜日別対抗の運動会を実施しました。玉入れや紐の巻き上げ競争、袋飛ばしを利用者様同士で行い、競い合いました。今年の優勝は金曜日チームで笑いあり、涙あり？の運動会となりました！

たま整形外科
みなさんの作品を飾ってます！



リハビリ室の中にご利用者様の作品を飾っています。利用者様に対し、このような幅広いニーズに対応できるようにしています。是非たま整形外科に作品を見に来てください！

Acti-va
岩出文化祭へ作品の出品！



利用者様が 80m 歩くごとにみくまくんやそうへいちゃんの絵に丸めたお花紙を１つずつ貼りイラストを完成させました。当日、ご家族様と一緒にその作品を鑑賞された方も多く、今回の取り組みが利用者様の社会参加に繋がりました。

こかわりハビリクリニック
訪問リハビリで 生活の質向上をサポート！



経験豊富なリハビリスタッフがご自宅にお伺いし、リハビリを提供いたします。
実際の生活環境で、１対１のリハビリを行うことで、より実生活に即した動作訓練が可能です。生活上のお困りごとがあれば、どうぞお気軽にご相談ください。

健幸倶楽部ながやま
卒業生がお手伝い！



施設を卒業後にボランティアとして来られ、ご利用者様と一緒に運動したり、相談相手になるなど、業務を手伝ってくれている方がいます。介護予防のためには、運動だけでなく社会参加も大切です。